

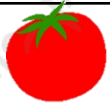


トマト編

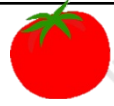
病害虫注意報 2022年7月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



かいよう病にご注意ください



症状

- 葉が生気をなくし萎れ始め、乾燥して巻き上がり黄化したのちに枯れる。
- 導管褐変がある。
- 茎が空洞になっている場合がある。

多発条件

- 25～28℃
- 多湿、傷口の湿気

対策

- ハサミなど道具の消毒をする（ケミクロンGなど）
- 無病の種子や苗を利用する
- 発病した株は抜き取る

おすすめ薬剤

対象病害によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

FRAC	対象病害	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数	
						マルハバ	1日
M01	かいよう病、すすかび病 葉かび病 等	兼商クプロシールド	1,000倍	-	-	1日	
24,M01	かいよう病、軟腐病 葉かび病、斑点細菌病、等	カッパーシン水和剤	1,000倍	前日	5回	0日	
41	かいよう病	マイコシールド	1,000～ 2,000倍	収穫開始 7日	2回	-	

育苗期・定植時 コナジラミ類 おすすめ防除

※下記粒剤は時期によって使用方法が異なります。ラベルをよく確認してご使用ください。

灌
注
剤

育苗期後半
～定植当日

ベリマークSC 薬量25ml/400株 ※定植3～5日前
(マルハバチ影響日数1日) 水量10～20L/400株 処理がオススメです！

粒
剤

育苗期
または
定植時

アルバリン粒剤 1～2g/株
(マルハバチ影響日数：10日以上)

※育苗期1回、
定植時1回ずつ
使用可能です！

ベストガード粒剤 1～2g/株
(マルハバチ影響日数30日以上)

※育苗期に処理した
場合、定植時には
使用できません！

粒剤施用例



育苗期 株元処理



定植時 植穴土壌混和

海藻サンバ

イノチオの新しいバイオステイミュラント！

1,000倍 散布、または灌注

- ▶ コリンによる光合成促進と発根促進
- ▶ 海藻エキスによる発根促進
- ▶ 転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

光合成能力UP!

ファイトオーツ

どぶ漬け 1,000倍
葉面散布1,000倍 7～10日おき散布

植物本来の力を活性化☆

- ▶ 活着の改善
- ▶ 抵抗性誘導物質の向上
- ▶ 毛細根の充実



肥料登録
生第83241号